

八万小学校 「学力向上実行プラン」

研究テーマ

- ①「主体的に学習する力を伸ばす、『聞く力・聞き合う力』の育成」
- ②「学習規律と家庭学習習慣の確立」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員
 委員 校長 上田威彦 教頭 仁木茂雄 教頭 黒田博章 教務主任 篠原 聡
 1年主任 中本裕美 2年主任 橋本禎子 3年主任 島田美穂 4年主任 新居 善江
 5年主任 黒山裕至 特別支援主任 笹田みすえ 学力サポートティーチャー 広瀬恵美子

校長

上田 威彦



(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 課題	①学習活動を支える読み・書き・計算などの基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 ②目的に応じて文章を読んだり、要旨をまとめて書いたりできる。	「漢字の読み書きや計算ができる」と答える児童の割合を80%以上			
	具体的方策(教員の取組)	取組指標		評価	次年度における改善事項
学力の二極化傾向が見られる。読書体験の不足により語彙数が少なく、文章を読み取る力や書く力に課題がある。	①漢字や計算の確認テストを継続的に実施する。授業ノートのまとめ方を指導する。 ②読書や読み聞かせの時間を計画的に設定する。 ③各教科の指導において、めあての提示・学習のふり返りを確実にを行う。	①-1単元ごとに漢字や計算の小テストを実施 ①-2一週間ごとに全員のノート点検 ②木曜日の朝の学習の時間に読書を実施 ③授業のねらいを明確にし、指導と評価の一体化を図る。			

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 課題	①要旨を捉え自分の考えと比較しながら、話を聞くことができる。 ②根拠や理由を明らかにして、相手に分かりやすく自分の考えや思いを伝えることができる。	「先生や友達の話が聞くことができる」「自分の意見や考えをきちんと言うことができる」と答える児童の割合を80%以上			
	具体的方策(教員の取組)	取組指標		評価	次年度における改善事項
「自分の考えと比べながら聞く力」「意見を聞いて話し合う力」に課題がある。	①ペア学習やグループ学習を積極的に行い、話す・聞く言語活動や学びを深める場面を設定する。 ②ホワイトボード等を活用し、意見を出し、まとめる活動を授業の中に取り入れる。	①グループや学級全体で自分の考えを発表する機会を一週間に1回以上設定 ②学期に1回必ず課題解決的な学習の授業を実践する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 課題	主体的に学習に取り組み、目標に向かって進んで学習したり活動したりできる。	①「授業中がんばって勉強している」と答える児童の割合を80%以上 ②「家庭学習ができていいる」と答える児童の割合を80%以上			
	具体的方策(教員の取組)	取組指標		評価	次年度における改善事項
自主的な学習習慣や態度が身に付いていない。学習に対する構えができていない児童、家庭学習の習慣が定着していない児童がいる。	①集中して授業に参加できるように学習ルールを徹底する。 ②「家庭学習の手引き」の作成・配布とその活用 ③学年便りや懇談等で家庭への啓発を行う。	①毎回の授業の中での児童の模範となる態度や活動をこまめに称賛 ②年間を通じ継続し、活用する手立てを行う。 ③学ぶ姿勢や有効な学習方法について家庭への啓発を図りながら、児童に継続的に指導する。			

平成28年度 学力向上ロードマップ

